富士市立神戸小学校

学校便り 神戸っ子

平成29年1月27日

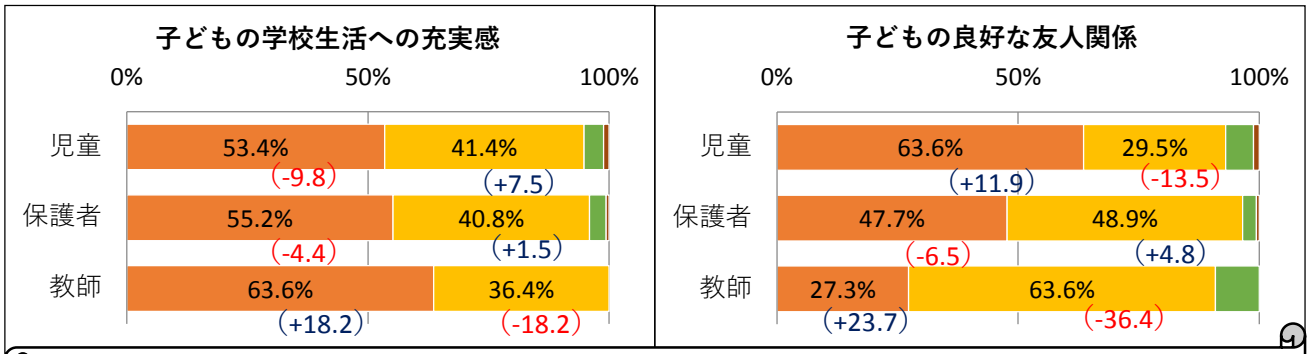
後期学校評価（報告）

☆ 後期学校評価報告

８月から１２月までの学校生活に関するアンケート調査（児童・保護者）を受けて、学校職員による自己評価を行いました。これらの結果を報告し、保護者の皆様にご理解いただいた上で、来年度の教育活動への改善点に生かしたいと思います。

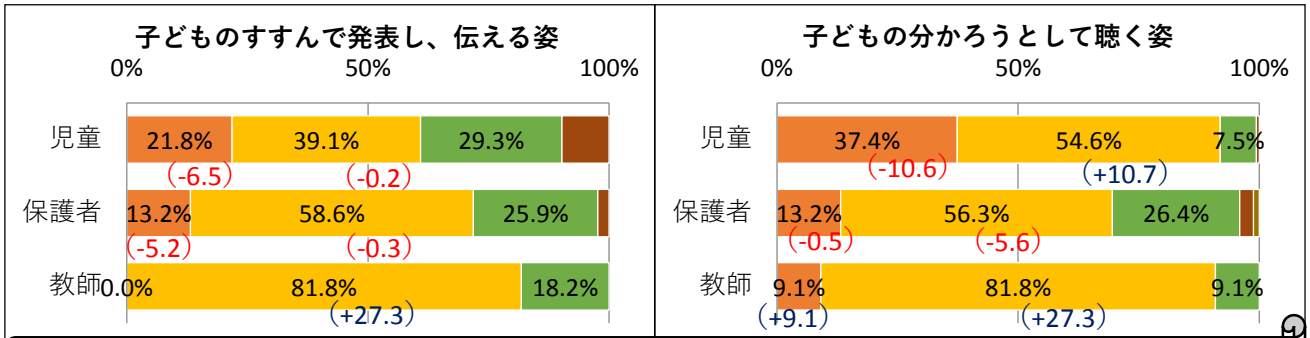
１　意識調査の結果

※グラフは、左側から「そう思う」「だいたいそう思う」「あまり思わない」「そう思わない」「無答」　※（）は前期との比較



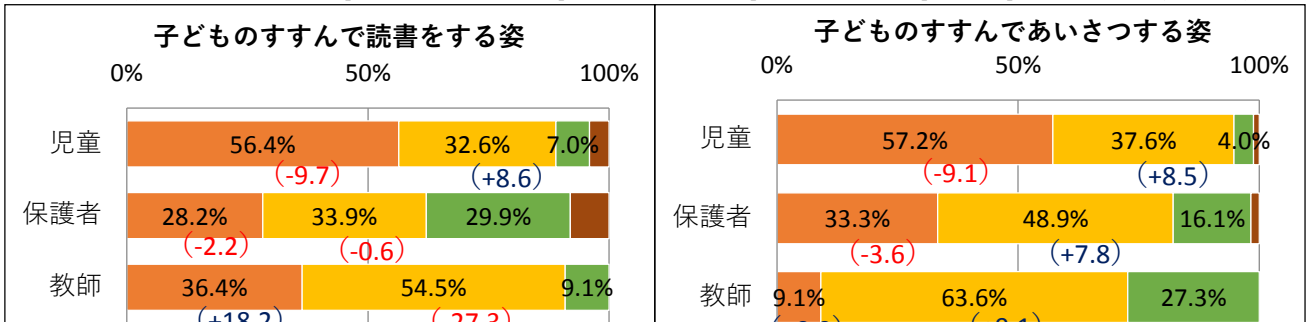
学校生活への充実感については、児童・保護者共に数値が下降しています。前期は良好な友人関係との相関関係が見られましたが、それ以外の理由（例えば学習面での充実）も考えられます。教師の自己評価としては、良好な友人関係向上との関連により、学校生活への充実感向上の数値が上がっているので、学習面等での充実感を味わえる指導の工夫を図りたいと思います。

※グラフは、左側から「そう思う」「だいたいそう思う」「あまり思わない」「そう思わない」「無答」　※（）は前期との比較



「話す」「聴く」を重点的に指導し、子どもの表現力と理解力の向上をめざしてきましたが、児童・保護者の評価が下がりました。特に、「聞く」と「聴く」の違いが分かったためか、児童の自己評価は大きく下がっています。それに対して、それらを意識して育てようとした教師の評価は向上しています。表面的には聞いているようでも理解につながる「聴き方」について今後も重点的に指導していきます。

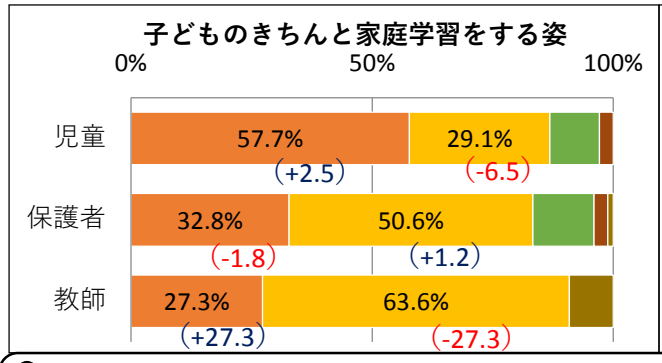
※グラフは、左側から「そう思う」「だいたいそう思う」「あまり思わない」「そう思わない」「無答」　※（）は前期との比較

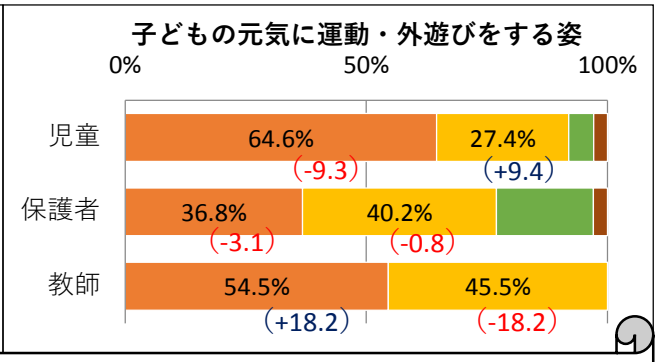


各学年に応じた読書の目標に向けて、読書活動を推進してきました。量よりも質の大切さも強調してきましたが、子どもたちの意識は、冊数に向けられているようであり到達できなかった子もいました。学年の目標を受けて、各自の読書目標の見直しをさせたいと思います。

後期はだんだん寒くなってきたせいか、子どもたちの朝のあいさつも声が小さくなっているようです。寒い時こそ元気よく声が出せるように、教師側から働きかけていきたいと思います。

※グラフは、左側から「そう思う」「だいたいそう思う」「あまり思わない」「そう思わない」「無答」　※（）は前期との比較

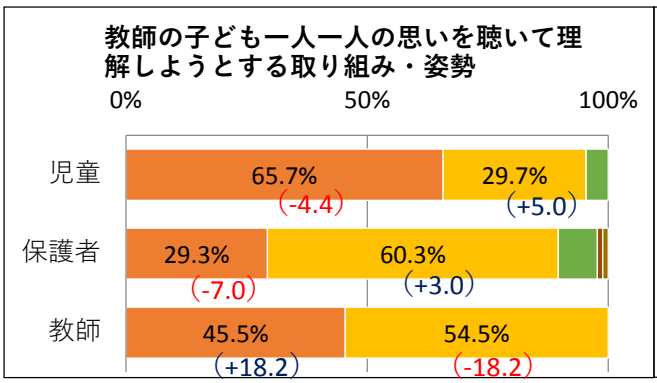


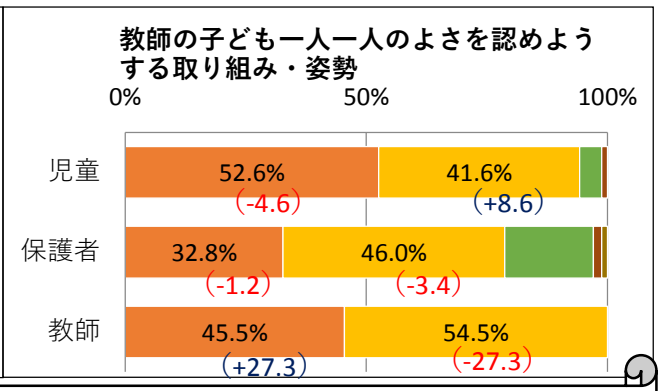


家庭学習への意識は、前期より高くなっていると言えます。しかし、まだまだ個人差も大きいため、全員が継続して家庭学習に取り組めるように働きかけていきたいと思います。

今年度は、中休みを20分間にし、外で十分遊べる時間を確保しましたが、子どもたちの意識は前期より下がりました。後期はふれあい祭りの準備や練習等で、20分休みや昼休みに外で自由に活動できなかったことも理由として考えられるため、ロング休み時間を十分確保できるように気を配っていきたいと思います。

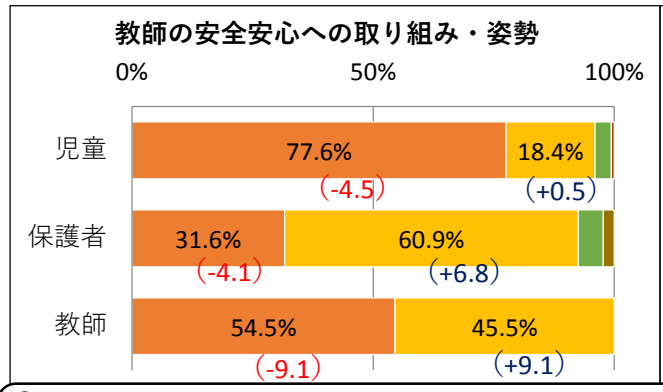
※グラフは、左側から「そう思う」「だいたいそう思う」「あまり思わない」「そう思わない」「無答」　※（）は前期との比較

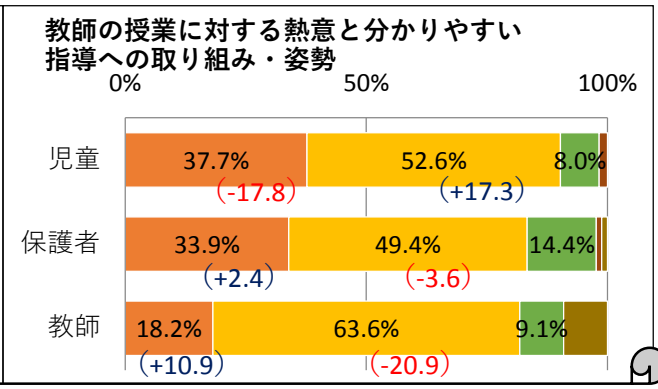




教師の自己評価とは対照的に、児童・保護者の評価は前期より下降しています。記述の欄にも書いてありましたが、教師の思いが、受け取る側の子どもたちに伝わっていないことがあったようです。特に、トラブルの対応場面で、子どもの言い分をもう少し聞いて、適切な指導につなげていく努力が必要だと自覚します。また、子どもたちのよい表れについても、積極的に発信していけるように心がけていきたいと思います。

※グラフは、左側から「そう思う」「だいたいそう思う」「あまり思わない」「そう思わない」「無答」　※（）は前期との比較



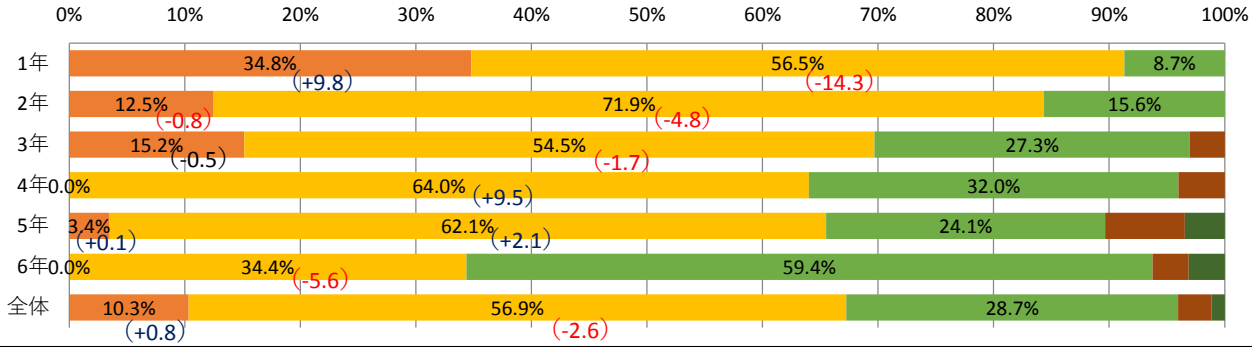


後期は、教師自身の安全・安心への取り組みに対する自己評価も低下しているので、再度意識を高める必要があります。校内の安全・安心はもちろんのこと、登下校での安全・安心を確保するための働きかけについても同様です。

授業に対する評価については、保護者の評価がわずかではあるが高くなったことが幸いです。しかし、肝心の児童の評価は、前期よりも大きく下がってしまったことについては、その原因を分析し、今後の取組みについて検討していく必要があります。

2　児童の家庭生活の様子（保護者のみ）

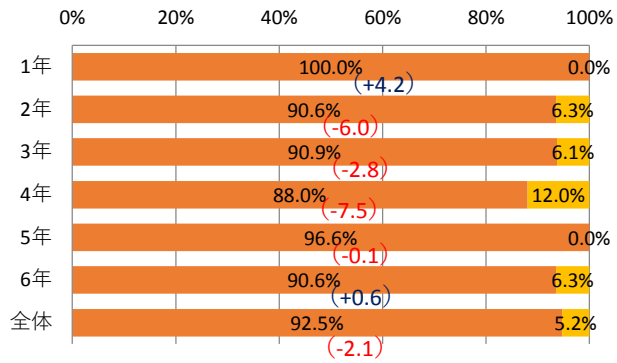
毎日、何時頃寝ていますか。　※グラフは左側から「～20:00頃」「～21:00頃」「～22:00頃」「～23:00頃」「～24:00頃」　※（）は前期との比較



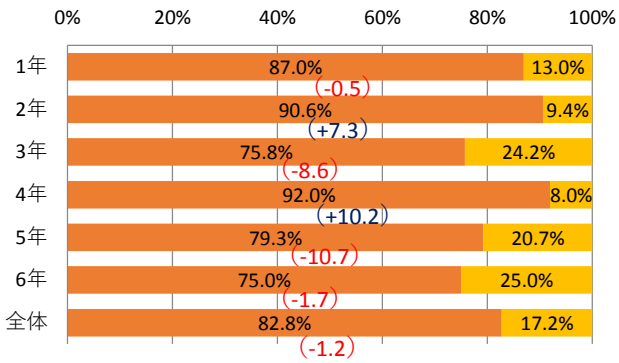
前期と同様に、高学年になるにつれて、就寝時刻が遅くなっていく傾向にあります。特に、3年生以上で22:00以降まで起きている児童がいるため、その原因について見直す必要がありと思います。就寝時刻を含めたよりよい生活時間の習慣について、ご家庭での働きかけを再度お願いします。

※グラフは、左から「はい」「いいえ」　※（）は前期との比較

朝食は、しっかり食べていますか。



学校や友だちの話を家でよくしますか。

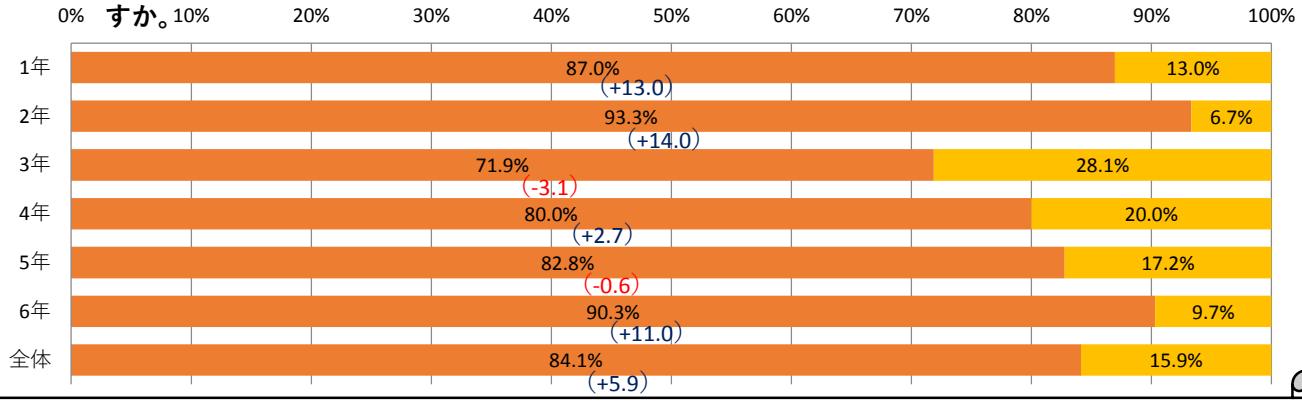


1年生のように朝食摂取率100%をめざしたいと思います。引き続き、朝食の大切さを学校だけでなく各家庭でも再度確認していく必要があります。

高学年に上がるにつれて、学校や友だちの話をしなくなる傾向にある中で、2年生と4年生が前期より話せるようになったことは幸いです。自分から話せないお子さんもいると思いますが、上手に聞き出していただきたいと思います。

※グラフは、左から「はい」「いいえ」　※（）は前期との比較

学校のきまり（自転車の乗り方、友だちの家での過ごし方など）をきちんと守っていますか。



1，2年生の規範意識が高まったことが分かり、子どもたちの成長を感じます。また、6年生の規範意識も十分に高まり、最高学年としての自覚が向上したことも感じ嬉しく思います。命を守るためのきまりや約束については、十分理解し守られていますが、人に迷惑をかけないためのきまりや約束については指導が必要な場合もありました。子どもたちの心に響く指導を心がけていきたいと思います。

3　子どもたちがよりよく伸びていくための意見・提案（保護者）より

➢ 学習指導に関すること

- 競争心、ライバル心アップのために、小テストを繰り返し自信と集中力のアップを目指し、切磋琢磨する中で真の友情も芽生えるのでは。
- 子どもたちの学習意欲を高めるためにも、塾に行っていない子にも分かる勉強の仕方、ノートのまとめ方を分かりやすく教えていただきたい。ノートのまとめ方の参考プリント、資料などの提示など。

前期と同様に基礎基本の定着、競争心の向上についてのご意見をいただきました。提言していただいた具体的な方法については、時間を見つけて取り入れてはきましたが、まだまだその成果が十分ではなかったと言えます。限られた時間の中で、できるだけ効果的に力をつけていけるように、今後も指導方法を工夫していきたいと思います。

➢ 生活指導（教師の指導）に関すること

- 一人一人をしっかりとみてもらっている実感があるので、親として嬉しい。
- 先生にたくさんほめられ、子供が学校へ行くのを楽しみにしている。「ほめて育てる」で伸びてほしい。
- 必要以上の叱責があり、子どもが先生に対して恐怖を感じている。
- ２～３人の男子が授業中の態度や言動で注意されることがあるようだが、なかなか改善されない。
- 先生の思いが受け取る側の子どもたちに伝わっていないことが時々あるようだ。
- 私語や学習態度面での授業や教室の乱れが気になる。早めに対応しないと手遅れになるので、厳しく是正すべき。
- 教師が見えない部分で子どもたちがどうしているか、知らないことが多すぎるのではないかと思うことがある。
- もう少し勉強をしっかりみてほしい。悪いことは悪いとけじめをつけてちゃんと叱ってほしい。
- 一部の子がおしゃべりを注意されることで授業が中断される。静かに授業を受けようと思っている子の邪魔をしていることを意識させるような注意をお願いしたい。
- その日に注意されたことはその日のうちに伝えてほしい。後日呼び出されてまで叱られた様子を見ていた他の学年の子から話を聞いて、本人も親も納得できず消化不良。

子どもたちへの指導については、できるだけ「ほめて伸ばす」指導を心がけていきたいと思いますが、時には、厳しく叱ることも必要となります。しかし、叱られた子どもが納得できなければ意味のない指導になってしまうということを頭に入れながら、よりよい指導に心がけていきたいと思います。

➢ 生活指導（子どもたちの生活）に関すること

- 児童クラブに迎えに行くと、高学年の男子が元気にあいさつをしてくれる。
- 毎日元気よく通っている。上級生も声をかけてくれる。嬉しく思う。
- 朝登校時に挨拶ができていない。大きな声で挨拶できるように徹底すべき。
- 外遊びを知らない、できない、物がなくても自分で遊びをすることができない子が多い。
- 休日や放課後の遊び場所が少ないので、日曜日にも運動場でのびのびと遊べるように開放してほしい。
- 放課後の過ごし方を親がもっと把握した方がよい。他人に家に迷惑をかけないように。

あいさつに関しては、個人差があると思いますが、全体的には下降気味です。気持ちのよいあいさつが周囲にどれほど好影響を与えるか実感できるような指導に心がけていきたいと思います。休日の運動場開放については、事前に申し込みをしている利用団体を優先するため、開放は難しいと思います。

➢ その他

- 月に1回か半年に1回、各学年で音楽を発表する機会があるとよい。
- 運動会を吉永第二小や富士見台小と合同でできたら、競争心やクラスの団結心が高まり、精神的な成長が期待できる。
- PTA奉仕作業の中で、子どもでもできる作業は、普段からちゃんとやらせるべき。施設を大切に使う心があまり感じられない。
- 行事予定が月末近いので、もっと早く出していただきたい。
- 本の貸し出しが金曜日だと、月曜日の荷物が多くて負担になる。木曜日に借りて、火曜日に返すなどの工夫を望む。
- 未来の学校「夢」プロジェクトが進み、教員の多忙化解消につながることを願っている。そして、先生方がいきいきと子どもたち一人ひとりに関われるようになることも。

全校にかかわる行事については、検討を重ねたうえで判断する必要がありますが、貴重なご意見として参考にさせていただきます。また、未来の学校「夢」プロジェクトへのご理解、ありがとうございます。地域や保護者のご理解・ご協力がなければ実現不可能な計画です。今後ともよろしくお願いします。

学校生活アンケートへのご協力をどうもありがとうございました。